

# 36. 精神科に入院となった急性薬物中毒患者における、入院後身体合併症の頻度の検討

## 研究の概要

急性薬物中毒の方が入院となる場合、身体科と精神科のどちらが主治科になるべきか、明確な決まりはありません。精神科で入院となった場合に心配なことは、入院後に重度の身体合併症が生じることだと思います。

## 研究の目的と方法

当院では急性薬物中毒の方が入院される際には、精神科か救命救急・集中治療部が主治科になりますが、院内ルールに則って主治科を決めています。精神科で入院となった場合に、入院後に重度の身体合併症が起きていないかを調べることで、現在の院内ルールが妥当であるかを調査することを目的としています。

## 本研究の参加について

後ろ向きの観察研究であり、対象患者様のデータを使用させていただきます。

## 調査する内容

精神科で入院となった急性薬物中毒の方のうち、入院後に重度の身体合併症を発症した方について、合併症の病名や発症頻度、重症度などを調査します。

## 調査期間

2017年1月1日～2017年12月31日の1年間

## 研究成果の発表

第26回 精神科救急医学会で発表いたします。

## 研究代表者

救命救急科 櫻井聖大

## 当院における研究責任者

救命救急科 櫻井聖大

## 問い合わせ先

救命救急科 櫻井聖大

TEL: 096-353-6501